



丹波地域

丹波篠山市立 城北畑小学校
 丹波篠山市立 古市小学校
 丹波市立 北小学校
 丹波市立 進修小学校

まちの自慢発信事業



令和2年度 小学校の「ふるさと学習」の紹介

丹波地域の小学校では、「ふるさと学習」を推進しています。

この「ふるさと学習」を通して、子どもたちは生まれ育った丹波地域に愛着や誇りを持ち、ふるさと意識を育んでいます。

そこで、平成28年度から、毎年4校の小学校の学習成果をクローズアップし、まちの魅力を順次発信しています。是非、ご覧ください。

兵庫県丹波県民局、兵庫県教育委員会丹波教育事務所
 協力：丹波篠山市教育委員会、丹波市教育委員会

丹波篠山市立城北畑小学校

丹波篠山の宝物『黒豆』づくりにチャレンジ！



丹波篠山の特産物といえば『黒豆』です。本校では、毎年3年生が農業委員さんの指導の下、黒豆栽培に挑戦しています。地域の宝物を地域の宝人とともに育て、調べ、学んでいます。

6月(種まき)



黒豆栽培のスタートです。農業委員さんとの顔合わせを終え、早速種まきの仕方を教えていただきました。『おへそ』が下を向くように気をつけました。



6月(定植)

発芽した苗を畑に植えました。『なかよくくん』と呼ばれる道具を使って、班で協力して植えました。今年の畑はとても広く、なんと約350本も黒豆を植えました。

7月(土寄せ)



8月(草取り)



土をかぶせたところから新しい根が出てきて根が広がり、水をよく吸い上げ、倒れにくくなります。訪れる度に大きく成長する黒豆に驚き、喜びました。

9月【社会科・黒豆を育てる仕事について調べよう】



いつもお世話になっている農業委員さんをゲストティチャーに迎え、黒豆作りの仕事について教えていただきました。たくさんの質問に答えていただきました。

10月【日本一の黒豆屋 小田垣商店の見学】

大量の黒豆が手早く選別される様子を食い入るように見ていました。また、黒枝豆が大量に全国に出荷される様子を見て、「丹波篠山の黒豆は日本一！」と改めて自慢に思いました。



10月【黒枝豆狩り】



大収穫でみんな大喜び！粒がとても大きくて立派な枝豆が取れました。家に持って帰ったり、茹でて全校生におすそ分けしたりしました。楽しかった様子を絵にも表しました。

11月【葉取り】



12月【豆かち・選別・ふくろづめ・出荷】



黒豆の株を切り、葉を落として学校に持って帰りました。畑に落ちた黒豆を宝探しをするように拾い集めました。

豆かちをして黒豆をさやから出し、選別する仕事を通して、黒豆が「くろう豆」と言われることがよく分かりました。

販売用黒豆のラベルに印刷する「黒豆キャラクター」を考え、3年生みんなで作った商品が出来上がりました。

3学期は、お世話になった方々と黒豆料理で収穫を祝い、黒豆についての発表や劇をして感謝を伝えます。

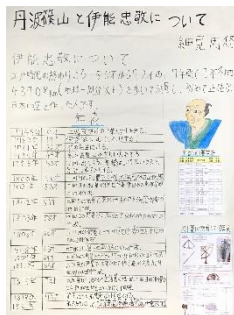


黒豆作りを通して、篠山の素晴らしさを体感しました。

いのうただか そくせき れきし 伊能忠敬の足跡をたどる～丹波篠山の歴史にふれる学習～

伊能忠敬との出会い

- ・丹波篠山ふるさとガイドブックで伊能忠敬の丹波篠山での活動を学習しました。
- ・自由研究で、古市小学校の6年生が伊能忠敬の足跡を調べました。



伊能忠敬を知ろう

- ・自由研究で調べた6年生がインタビューした「伊能忠敬篠山領探索の会」の加賀尾宏一さん（かがおこういち）に伊能忠敬と丹波篠山市や古市との関係について学校で講演していただきました。



<感想>

- ・まず、伊能忠敬の測量の仕方を教えていただきました。地図には今と同じ地名があったり、今と同じようなかけ算を使って考えたりしたことが分かりました。
- ・加賀尾さんのお話を聞いて、古市校区には伊能忠敬の歴史がいっぱいあることを知りました。

伊能忠敬の測量を体験しよう

- ・古市小学校区の大蔵神社（油井）からおおとしから南へ出発。測量の目印となる「御用旗」と「梵天」を持ち、歩数を数えて記録しながら歩きました。



<感想>

- ・記録とか歩くのとか、思ったより楽しかったです。歩測しながら、「昔はこんな感じで考えていたのか、最近は便利なものが増えたな」など考えました。
- ・歩測をしている時、だんだん数が大きくなってくると、言いにくくなって、歩くスピードと数えるのが合わなくなるときがありました。伊能忠敬はとても大変で、手間のかかることをしたのだと、より分かりました。

伊能忠敬の訪れた場所に行こう

- 伊能忠敬が立ち寄って昼食を取ったという民家に立ち寄り、お話をうかがいました。
- 伊能測量隊一行がたどったとされる道を実際に歩きました。



ほそく 歩測の答え合わせをしよう

- 児童が歩測した結果を計算してみました。
- 実際の距離は590mでしたが、計算間違いで大きな誤差があった班もありました。



<感想>

- 計算をまちがえたけれど、伊能忠敬は正確に計算できていたし、体力も頭脳もすごいなあと思いました。
- 歩測の結果を計算してみると始めは結果がとても変でした。でも、やり直してみると、まあまあ近くなったので「おかしくなかったんだ!」と安心しました。

学習を終えて

<感想>

- 歩測実習は班の子と協力しながらできてよかったです。結果はどの区間にもばらつきが出ました。
- 一歩一歩、意識しながら歩いたのですが、やはり難しかったです。このように考えると、伊能忠敬が作った日本地図と今の日本地図との差が少ないというのは、本当に素晴らしいことだと思います。
- 伊能忠敬は「こんなやり方をしていたんだな」とわかりました。歩測、御用旗、記録をかわりばんこでやって、全部体験できました。





自然が好き 人が好き ふるさと幸世が大好き！！



さちよ しぜん れきし かし ふ いだい さんぎょう こうせき
幸世の自然や歴史の持つ価値に触れ、先人の偉大さや産業の功績を学
ぶ学習を通して、校区である幸世地域への愛着やふるさと幸世を誇り
に思う心情を育てています。

名人がいっぱい

地域には、すごい人がいっぱい！
知らないことをたくさん教えてもらえてうれしいな。

幸世の自然や歴史を語り伝えてくれる人、幸世の伝統を守っておられる人。
そのようなゲストティーチャーに出会い、その努力や願いを知る学習をしながら、北っ子たちは大きな感動を味わっています。



生き物名人（4年）



もの作り名人（5年）



むかし名人（3年）



こま回し名人（1年）



フラダンス名人（クラブ活動）



ふるさと名人（6年）

すてき

素敵な所がいっぱい

子どもたちは地域に出かけ、地域の人と出会いながら、ふるさと幸世について詳しく調べる活動を行います。“自分とふるさと幸世”が繋がっていることを実感しています。

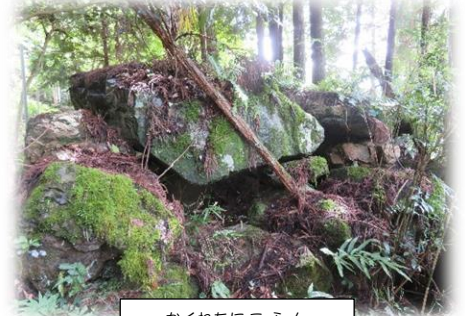
今まで知らなかったことがたくさん残っている所なんだ。自分たちの地域を大切にしたいな。



えんつうじ
圓通寺



どっこ たき
独鈷の滝



かくれたにこふん
隠谷古墳



イベントがいっぱい

子どもたちが地域を大切に思うきっかけになるイベントがいっぱいあります。地域と学校が一緒になって、子どもや地域を盛り上げています。



とんど大会



バザー



君こそスターだ！



未来塾 さちよ

私たちのためにたくさんの地域の方々が関わってくれている。私たちも地域のために何かしたいな。



アートフェスタ



こども食堂



イルミネーション



学ぼう そして 引き継ごう

地域の人たちの願い

～学田と学校林～

学校にある石碑について知ろう

進修小学校の裏庭に『学田の碑』があります。そこには、大切な進修小の歴史が刻まれています。進修小では、「学田」や「学校林」の学習を通して、地域の人々の教育への願いを知り、故郷を誇りに思う心情を育てています。



『学田』の歴史を学ぼう 伝えよう

自分たちの生活も精一杯だったのに、子どもたちのために寄付してくれたんだね。



「学田」には、村の人たちの「どの子にもしっかり教育を受けさせたい。」という熱い思いがこもっているんだね。

「学田」のことを劇にして、みんなに知ってもらおう。
進修小の歴史を伝え、地域の人々の願いを引き継ごう。

「学田」とは

明治時代、授業料が払えず学校に通えない子どもがたくさんいたために、村の人が子どもたちに何とか勉強をさせたいと考え、学校に寄付した田畑です。収穫した農作物を売って授業料にし、すべての子どもが就学できました。



『学校林』で学ぼう 体験しよう

「学校林」とは

昭和38年「学校創立90周年」を記念して、地域の人が、将来子どもたちの学習に役立ててほしいと、寄付した山林です。現在は「キコリン山」と名付け、児童がその山林で、毎年間伐などの環境体験学習を行っています。



全国でも山林を持っている学校はとても少ないよ。
頂上から校区を眺めてみよう。

間伐ってどういうことかな？

引っぱれ！よいしょ！！

みんなで交代しながら木を切ろう。のこぎりを引くのは初めてだから、難しいな。うまく切れないよ…。



間伐した木材は、割って薪にするなどして、役立てられるよ。



たくさんの地域の人たちが協力してくださったね。



森林の木は災害を防ぐためにも大切な役割をしていると分かったよ。しっかり根をはった丈夫な木を育てるために、間伐が欠かせないんだね。

間伐した木で、何か作ってみたいね。製材所で板にしてもらったよ。大きな機械は電動のこぎりだね。



年輪から木の年齢が分かるよ。数えてみよう。間伐した2本の木は、50年ぐらいと80年ぐらいだったよ。



杉の木はいい香り…

地域の木工作家さんに教えてもらって、工作をするのが楽しみだな。きっと、キコリン山の思い出が詰まった宝物になるよ。

令和2年度 指定校の学校紹介



丹波篠山市立城北畑小学校

学校教育目標 互いに尊重し、共に学び、自律した 子どもの育成

創 立 平成25年（城北小と畑小が統合し創立）

児 童 数 145名

特 色 「良樹細根」を校訓に、校区の豊かな自然環境や地域の歴史を大切に
したふるさと学習をすすめている。毎年3年生は、環境体験学習にお
いて、地域の農業委員さんの指導のもと黒豆づくりに取り組んでいる。

所 在 地 丹波篠山市黒岡89 TEL 079-552-0462 FAX 079-552-6809
E-mail el-johokuhata@school.sasayama.jp



丹波篠山市立古市小学校

学校教育目標 こころ豊かで たくましく 自ら考え行動する子
～安全・安心な学校づくりを推進し

こころ豊かで たくましく 自立した児童を育む～

創 立 明治6年

児 童 数 104名

特 色 校区内には旧街道が交わる交通の要衝があり、総合的な学習の時間
を中心に地域の歴史にふれるふるさと学習を展開している。6年生
では、伊能忠敬と校区とのつながりについて、体験活動をふまえた
取組をすすめている。

所 在 地 丹波篠山市波賀野新田74 TEL 079-595-0019 FAX 079-595-0496
E-mail el-furuichi@school.sasayama.jp



丹波市立北小学校

学校教育目標 夢に向かって一人ひとりが輝く北っ子の育成
～自分大好き 学校大好き 「さちよ」大好き～

創 立 明治6年(相救舎として創立)

児 童 数 163名

特 色 地域の宝「ひと・もの・こと」と題して、地域の魅力を教材化し、授業
に地域講師を積極的に活用したふるさと学習を展開し、地域とともにあ
る学校づくりに取り組んでいる。

所 在 地 丹波市氷上町絹山608 TEL 0795-82-7030 FAX 0795-82-7923
E-mail kita-es@tamba.ed.jp



丹波市立進修小学校

学校教育目標 夢や目標をもち とともに高め合う 児童の育成
～地域とともに こころ豊かに たくましく～

創 立 明治6年（周文舎を創立）

児 童 数 113名

特 色 「学田」と「学校林」の学習を通して、進修小の歴史を伝え、地域の
人々の願いを引き継いでいく教育活動をすすめている。その「学校林」
の間伐作業から、間伐林の活用や木の持つ様々な特性について学ぶ環境
体験学習にも取り組んでいる。

所 在 地 丹波市春日町国領1011-1 TEL 0795-75-0037 FAX 0795-75-2011
E-mail shinsyu-es@tamba.ed.jp

※児童数は、令和2年5月1日現在

令和2年度 チャレンジQの取組

新型コロナウイルス感染症のため、11月23日開催の「第10回たんぼっ子!学びフェスタ」は今年度の開催を見送ることとしました。そのため、例年実施していました「まちの自慢発信事業」の指定校によるステージ発表を行うことができず、残念でなりません。しかし、実行委員会として「コロナ禍の中でも、丹波地域の子どもたちのために、今できることは何か…」を協議し、「チャレンジQ」については、実施方法を変更して行うこととしました。

○今年度の実施方法

- ① 丹波教育事務所のホームページに問題を掲載。
- ② ダウンロードして問題を解く。
- ③ 解いた問題を郵送、FAX、メールにて送る。
または、事務局に持参する。
- ④ 高校生が採点し、解答を返却する。

クラスみんなで取り組み、担任の先生も一緒に問題を解いて、応募する学校もありました。

今年は、家庭や学校で問題にチャレンジし、例年の参加者を大きく上回る総勢289名の人が応募してくれました。

時間制限を設けなかったもので、じっくりと問題に取り組み、辞書などで調べてとても詳しく解答する子もいました。



丹波地域の高校生が放課後に一つひとつ丁寧に採点してくれました。



子どもたち一人ひとりに高校生がメッセージを書いてくれました。日頃は、あまり交流のない小学生に自分たちの小学校時代を思い出しながらの心温まるメッセージでした。



応募してくれた子どもたちの中からちゅうせんで20名に高校生が学校で作った手作りの品物をプレゼントしました。



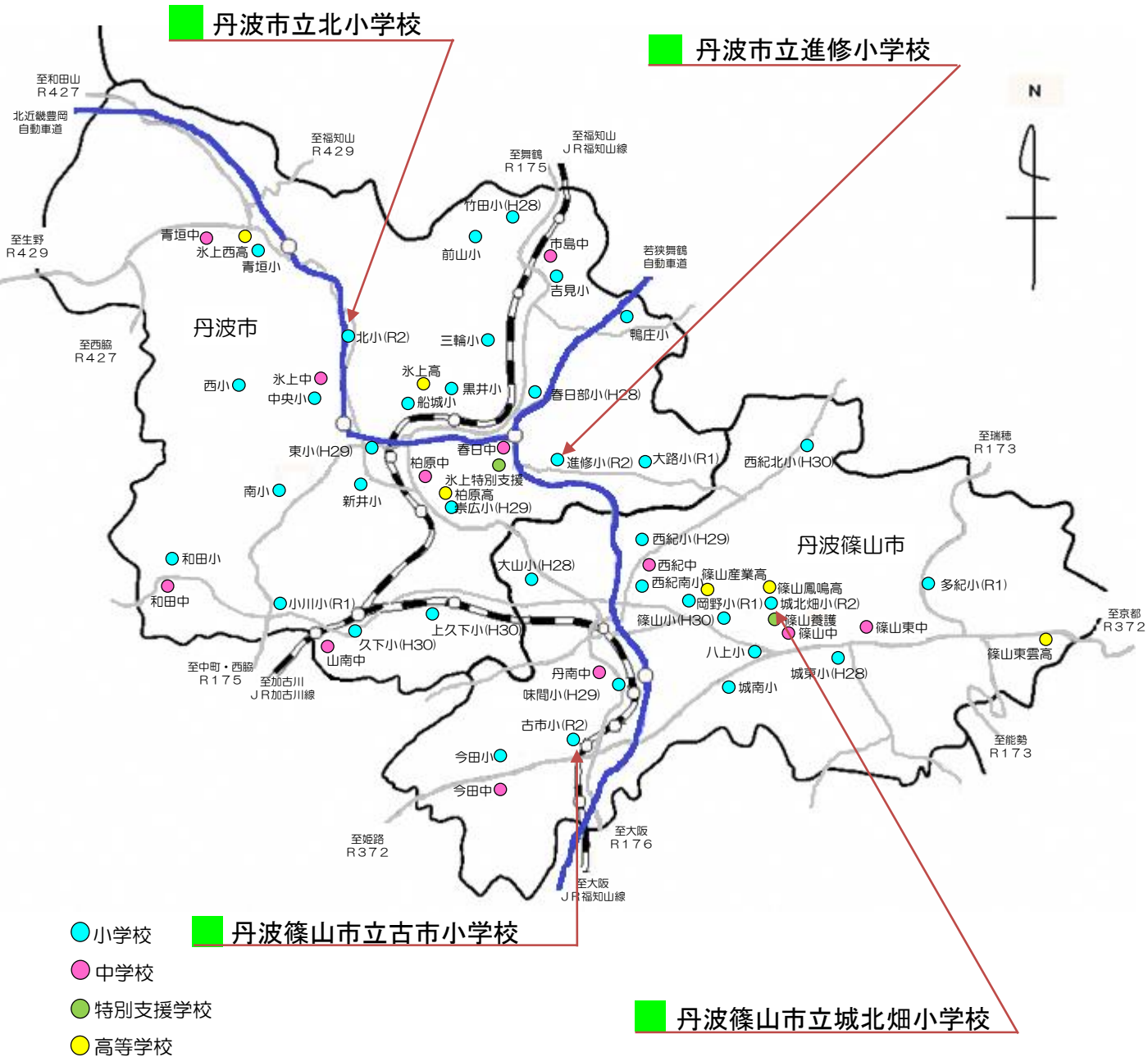
今年度は、例年とは異なる実施方法でしたが、たくさんの応募がありました。ありがとうございました。来年度はどのような形で実施していくのがよいのかを実行委員会で協議していきます。

第10回たんぼっ子!学びフェスタ

令和3年11月23日(火・祝)に開催予定。



丹波地域の学校マップ



※学校名に続く()は、発行年度を示す

[発行・編集]

兵庫県丹波県民局

〒669-3309 兵庫県丹波市柏原町柏原688
TEL 0795-73-3718 FAX 0795-72-3077

兵庫県教育委員会丹波教育事務所

〒669-2341 兵庫県丹波篠山市郡家451-2
TEL 079-552-7486 FAX 079-552-6034
URL <http://www.hyogo-c.ed.jp/~tamba-bo/>

[発行日] 令和3年2月

